

2014年3月28日
株式会社日本政策金融公庫
総合研究所

中小企業景況調査(2014年3月) 要約版

[概況] 中小企業の売上げDIは上昇、売上げ見通しDIは低下
～売上げ見通しDIは、3カ月連続で低下したものの、プラス水準を維持～

1 売上げ

2014年3月の売上げDIは、前月(10.5)から上昇し、11.9となった。上昇は2カ月連続である。

今後3カ月(3月～5月)の売上げ見通しDIは2.9と、前月(11.7)から低下した。低下は3カ月連続となるものの、14カ月連続でプラス水準となっている。

2 利益

利益額DIは、13.3と、前月(13.9)から低下したものの、8カ月連続でプラス水準となっている。

3 価格、雇用、生産設備

販売価格DIは、5.1と、前月(6.5)から低下したものの、5カ月連続でプラスとなっている。仕入価格DIは、24.1(前月:27.8)と低下したものの、販売価格DIとの差は依然として大きい。

従業員判断DIは、8.3と、前月(5.3)から上昇した。4カ月連続でプラス水準となっている。生産設備判断DIは、▲3.7(前月:▲4.3)と、6カ月連続で上昇した。2カ月連続で一桁のマイナスとなっている。

※調査の全文につきましては、[こちら](#)をご覧ください。

<調査の要領>

調査時点	2014年3月中旬
調査対象	三大都市圏の当公庫取引先900社(首都圏455社、中京圏141社、近畿圏304社)
有効回答企業数	615社
回答率	68.3%

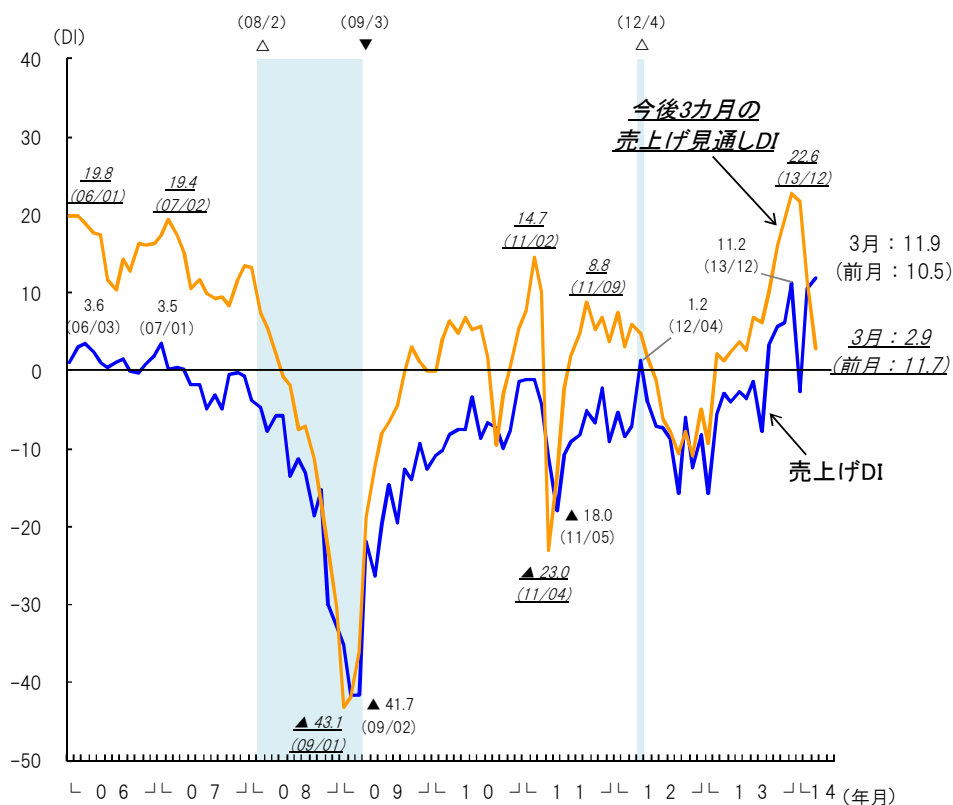
<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1704(担当:桑本、神谷)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

本資料は日本銀行内金融記者クラブ、経済産業記者会に同時配布しております。

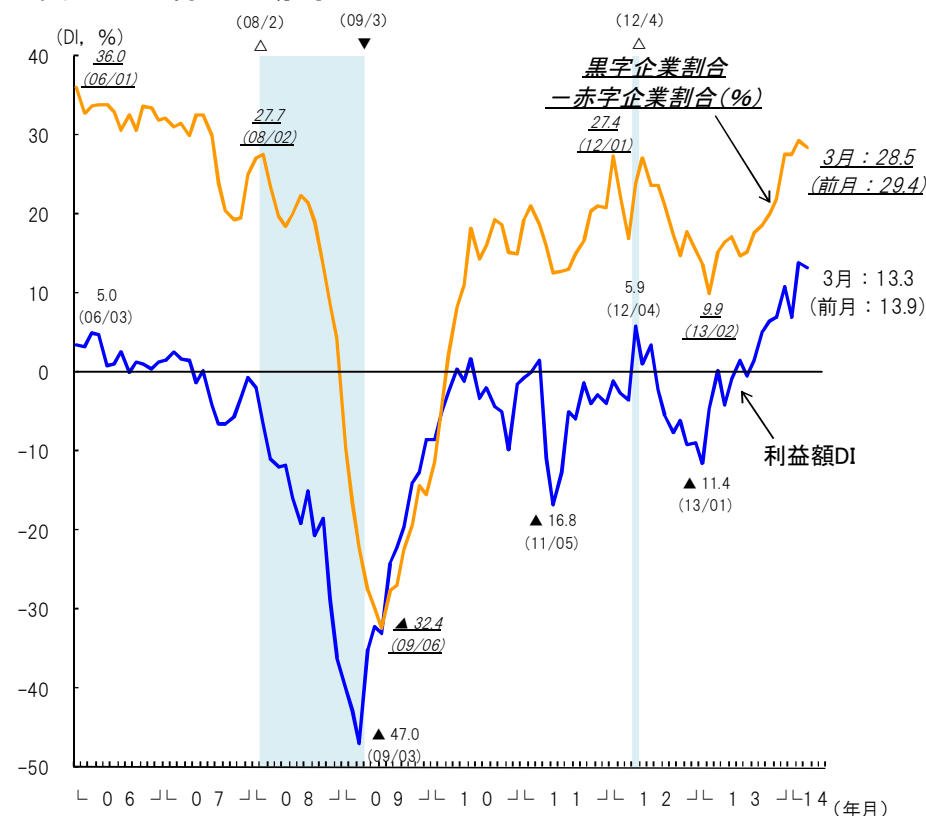
- 売上げDI(「増加」-「減少」)は、11.9と、前月から1.4ポイント上昇した。上昇は2カ月連続である。
- 売上げ見通しDI(「増加」-「減少」)は、2.9と、前月から8.8ポイント低下した。低下は3カ月連続である。
- 利益額DI(「増加」-「減少」)は、13.3と、前月から0.6ポイント低下した。プラスとなるのは8カ月連続である。
- 黒字-赤字企業割合は、28.5と、前月から0.9ポイント低下した。

図-1 売上げ及び売上げ見通しの動向



- (注) 1 売上げDIは前月比で「増加」-「減少」企業割合(季節調整値)。
 2 今後3カ月の売上げ見通しDIは過去3カ月の実績比で「増加」-「減少」企業割合(季節調整値)。
 3 シャド一部分は景気後退期を示す。ただし、2012年4月以降については、まだ景気の谷が設定されていないことからシャド-は付けていない(以下同じ)。

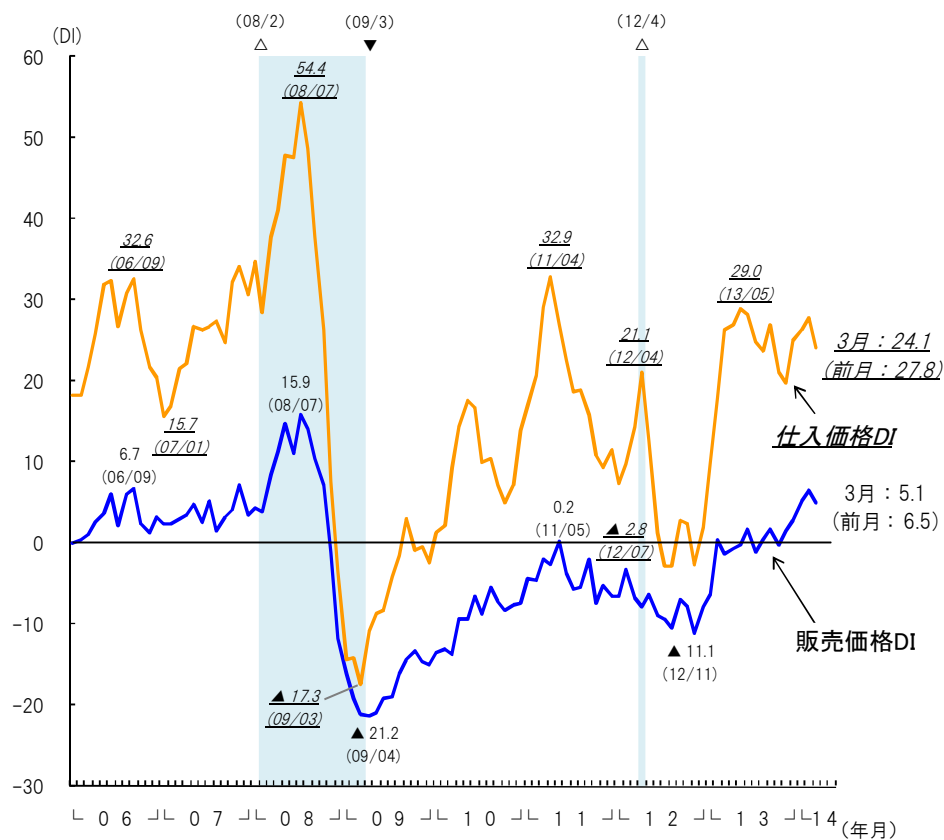
図-2 利益の動向



- (注) 1 利益額DIは前月比で「増加」-「減少」企業割合(季節調整値)。
 2 黒字および赤字の判断については過去3カ月の実績による(季節調整値)。

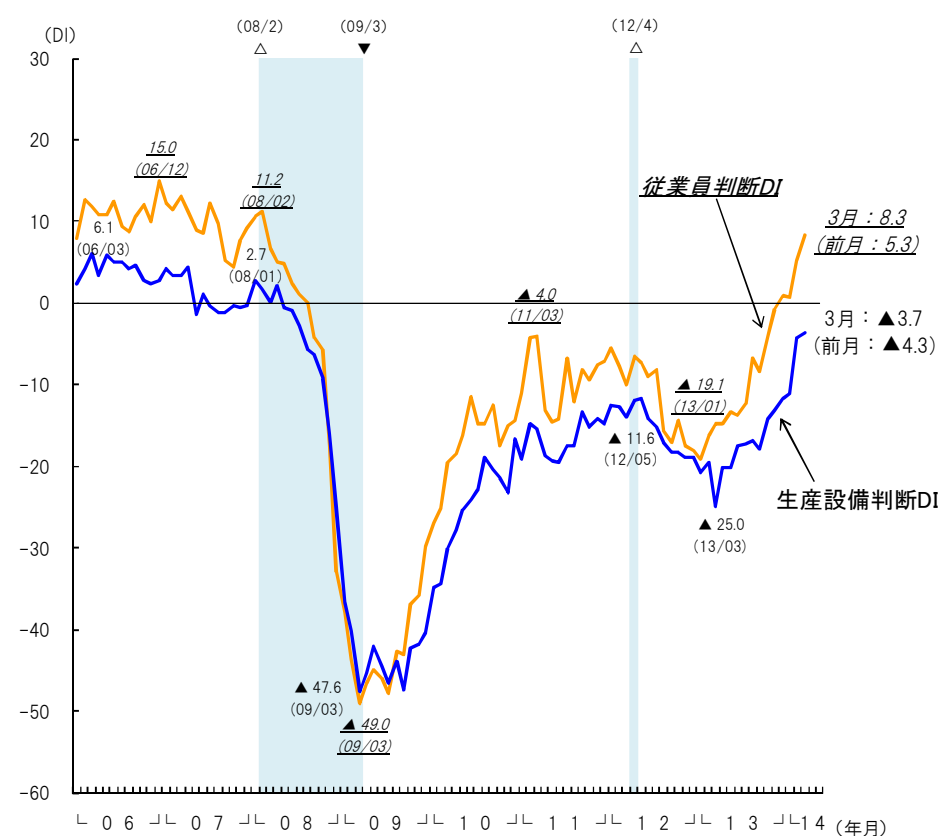
- 販売価格DI(「上昇」-「低下」)は、5.1と、前月から1.4ポイント低下した。プラスとなるのは5カ月連続である。
- 仕入価格DI(「上昇」-「低下」)は、24.1と、前月から3.7ポイント低下した。このところ高い水準が続いている。
- 従業員判断DI(「不足」-「過剰」)は、8.3と、前月から3.0ポイント上昇した。上昇は2カ月連続である。
- 生産設備判断DI(「不足」-「過剰」)は、▲3.7と、前月から0.6ポイント上昇した。上昇は6カ月連続である。

図-3 販売価格、仕入価格の推移



(注) 1 販売価格DIは前月比で「上昇」-「低下」企業割合。
2 仕入価格DIは前月比で「上昇」-「低下」企業割合。

図-4 従業員状況、生産設備の判断

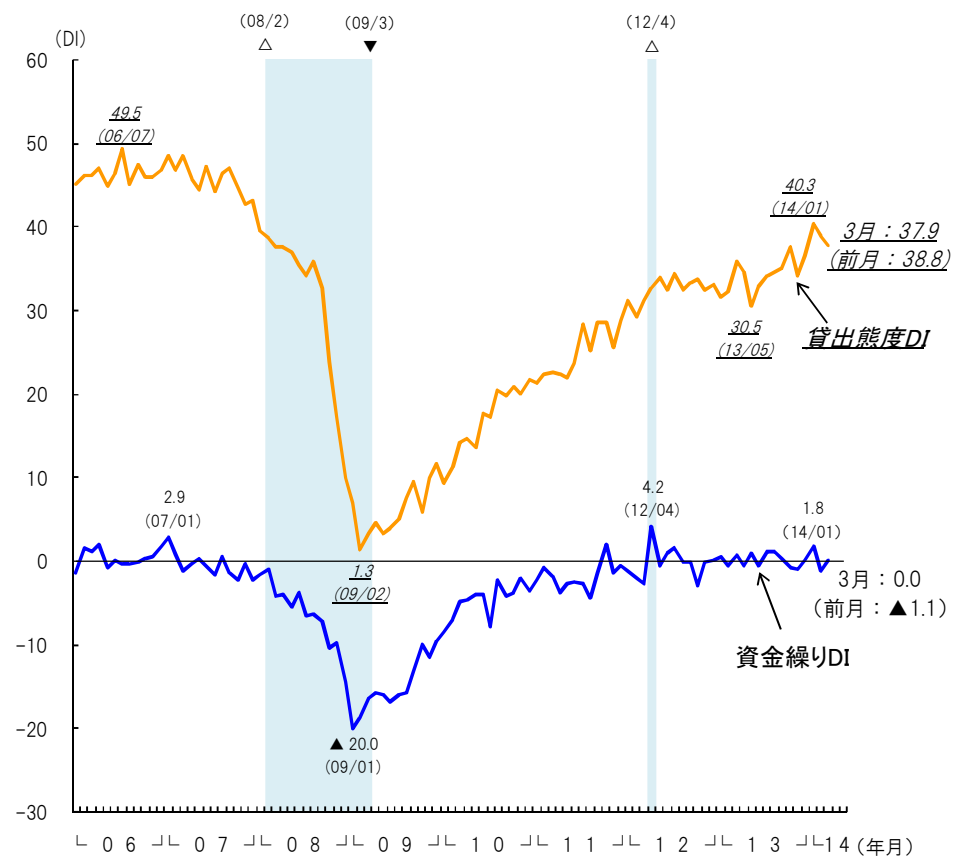


(注) 1 従業員判断DIは「不足」-「過剰」企業割合(季節調整値)。
2 生産設備判断DIは「不足」-「過剰」企業割合(季節調整値)。

○資金繰りDI(「余裕」－「窮屈」)は、0.0と、前月から1.1ポイント上昇した。

○貸出態度DI(「緩和」－「厳しい」)は、37.9と、前月から0.9ポイント低下した。

図－5 資金繰り状況と金融機関貸出態度



(注) 1 資金繰りDIは「余裕」－「窮屈」企業割合(季節調整値)。

2 貸出態度DIは「緩和」－「厳しい」企業割合。